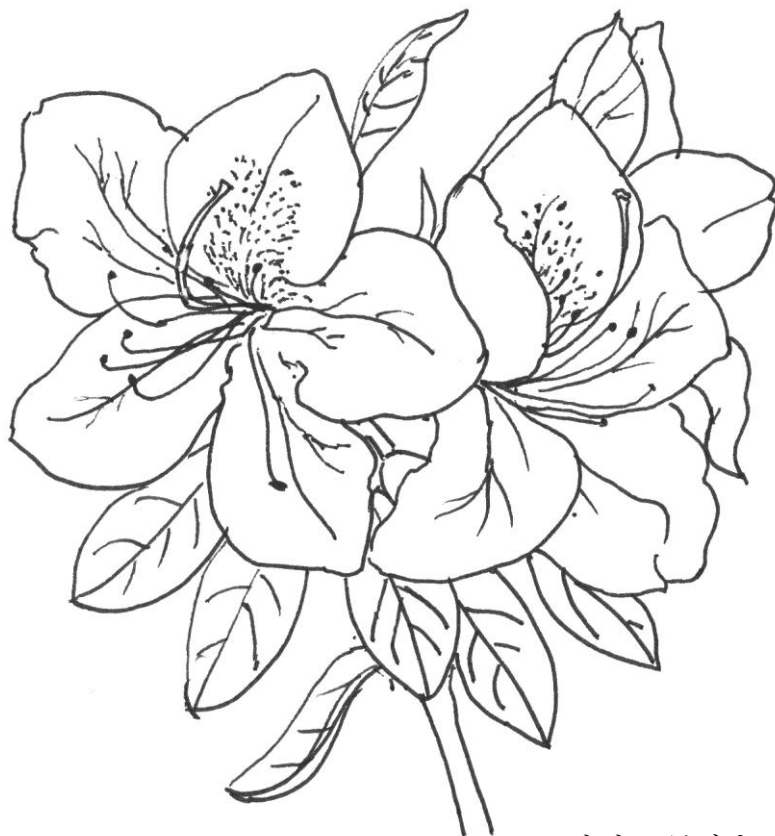


花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記2

国立市立国立第七小学校

平成26年5月13日 NO.13 (113)



オオムラサキツツジ (ツツジ科)

オー君 「あ！この花、見たことあるぞ。どこだったかな。うーん。どこだったかな。」

モンタ博士「学校の近（ちか）くだよ。そうだな……。学校から70mか80mかな。」

花ちゃん 「わたしも見たことあるわ。どこだったかしら。ふーむ。どこだったかしら。」

モンタ博士「あのね、この花のある場所（ばしょ）はね、校門から西のほうに行く道にあるんだ。モンタ博士が、いつも谷保駅から歩いてくる道にあるんだ。モンタ博士は、毎日見ているよ。毎日歩く道で、いつどんな花が咲（さ）くのか調べると、とても楽しいと思うよ。」

オー君 「その通りですね。ところで、モンタ博士。このお花の名前は、何というのですか。」

モンタ博士「これは、オオムラサキツツジというんだ。」

花ちゃん 「ツツジにはいろいろな種類（しゅるい）があるんですよ。モンタ博士。」
モンタ博士 「そうだよ。今はツツジの咲く季節（きせつ）だからね。いろいろとさがして
楽しもうね。」
オー君 「でも、どうして、ツツジというのかな。」
花ちゃん 「わたし、知（し）ってるわ。筒（つつ）のように咲くからなんだって、それ
から、つぎつぎに咲くからツツジというらしいのよ。」
オー君 「へえーすごいな。花ちゃん。尊敬（そんけい）しちゃうよ。」
モンタ博士 「すごいね。花ちゃん。大したもんだ。パチパチパチ！ところで、二人とも、
花をよーく見たことあるかな。一つ自分の手に取ってゆっくりと観察してみ
ようよ。何か発見があるかもしれないよ。」
花ちゃん 「そうですね。名前がわかったからといって、全部（ぜんぶ）がわかったわけ
ではないですね。よーくしっかりと見てみましょう。」
オー君 「ふーむ。何か発見できないかな……。じろじろジロジロ……。あ！」
花ちゃん 「オー君！何か発見したの？」
オー君 「ほら！見てごらんよ。花びらは5枚にわかれているけど、下はくっついてい
るでしょ。おもしろいなあと思ったのは、その5枚の花びらの一部（いちぶ）
だけに、黒い点々（てんてん）があるんだ。」
花ちゃん 「ほんとうだ。オー君！大発見だね。でも、どうしてそんな点々があるのかな。」
モンタ博士 「そうだね。その点々にはどんな意味（いみ）があるのだろう。それを考（か
んが）えることが大切なことさ。自分で知っていることをいろいろと思い出
して、まちがってもいいから考えてみようよ。」
オー君 「そうか、わかったぞ。この点々は虫たちのためのものさ。」
花ちゃん 「それって、どういうこと？」
オー君 「つまり、この点々は、ここに蜜（みつ）があるという目印（めじるし）さ。」
モンタ博士 「その通りだね。だから、ツツジの花にはいっぱい蜜があるんだよ。」
花ちゃん 「わかった。それで、ツツジの花を口ですうと、あまいんだわ。」

※国立てくてく 11号のソラマメクイズの答・・・ベット・ねどこ（どちらでも正解）